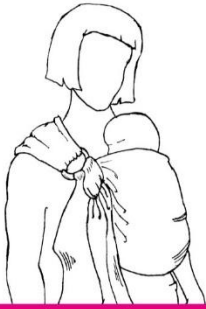


The T.I.C.K.S. Rule for Safe Babywearing

安全な抱っこのルール、「TICKS」

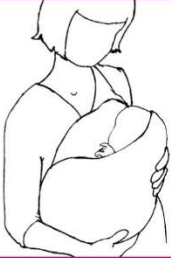


- ✓ **TIGHT** - 密着していること
- ✓ **IN VIEW AT ALL TIMES** - 常に赤ちゃんの様子が見えること
- ✓ **CLOSE ENOUGH TO KISS** - キスができるくらい
- ✓ **KEEP CHIN OFF THE CHEST** - あごを引きすぎない
- ✓ **SUPPORTED BACK** - 背中が支えられている



TIGHT - 密着していること

スリングや他の抱っこひもは赤ちゃんを抱きしめられるくらい密着していなければなりません。この状態がお互いにとっていちばん快適です。布にたるみやゆらみがあると、赤ちゃんが埋もれて呼吸の妨げになったり、使用者の背中に負担がかかったりする原因になります。



IN VIEW AT ALL TIMES - 常に赤ちゃんの様子が見えること

ちょっと見下ろしただけで常に赤ちゃんのお顔が見える状態にしておかなければなりません。スリングやその他の抱っこひもの布が赤ちゃんの顔を覆ってしまって、様子がわからない状態はいけません。ゆりかご抱きをしている時は、赤ちゃんの顔は上方を向いてうつむかないようにします。



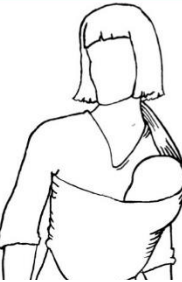
CLOSE ENOUGH TO KISS - キスができるくらい

赤ちゃんの頭が邪魔にならない程度にあなたの顎の近くにくるような位置で抱くと快適です。あなたが頭を少し傾けると、赤ちゃんの頭かおでこにキスができる状態にします。



KEEP CHIN OFF THE CHEST - あごを引きすぎない

赤ちゃんのあごが赤ちゃん自身の胸に押しつけられて呼吸の妨げになるほど丸まった状態にならないようにします。赤ちゃんのあごの下に少なくとも指一本分のスペースが常に保たれているようにします。



SUPPORTED BACK - 背中が支えられている

たて抱きの場合、赤ちゃんの背中が不自然な状態で支えられることなく、おなかと胸があなたと向かい合わせになるように、密着した状態でなければなりません。もしスリングなどが緩すぎると、赤ちゃんが布に埋もれて気道をふさいでしまう可能性があります。(これは赤ちゃんの背中に手を当てて優しく押すことで確認できます。赤ちゃんが更に埋まったり、あなたに近づくようなら布に緩みがあります。)パウチ(リングなしスリング)やリングスリングで赤ちゃんを抱くときは、赤ちゃんのお尻がもっとも低くなるような体勢で入れる必要があります。あごが胸に押しつけられてスリングの中で二つ折りの状態になってはいけません。